

製品名: YAP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21335**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:55kD;Observed MW:55-75kD

抗原情報

遺伝子名	YAP1
別名	YAP1;YAP65;Yorkie homolog;65 kDa Yes-associated protein;YAP65
遺伝子 ID	10413
SwissProt ID	P46937
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

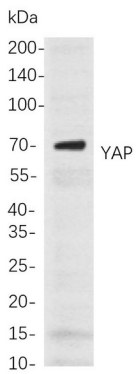
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、発生、成長、修復、および恒常性維持に関与する Hippo シグナル伝達経路の下流核エフェクターをコードしています。この遺伝子は、このシグナル伝達経路の転写調節因子として、複数の癌の発生および進行に関与すること

が知られており、癌治療の潜在的な標的となる可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



MCF7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (YAP ウサギ mAb 使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。